

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	観光振興事業				担当課名	産業振興課	
					担当係名	観光係	
(予算書コード)	07-01-03-12-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営				
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	住民や地域事業者と連携し、滞在型観光や新たな地域活性化のための着地型旅行商品の造成を図るとともに、町の文化・観光・産業の宣伝・誘客、各種イベントの開催等を推進し、地域の賑わいの創出を目指す。また、観光振興局が中心となり、稼ぐ観光及び持続可能な観光地域づくりを推進し、観光振興計画を実践する。						
事業の活動成果 (事業の実施によりどのような状態にしたいか)	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	観光消費額(一人当たりの消費単価:店舗等)	諏訪大社周辺活性化事業効果検証調査	円	目 標	3,000	3,000	3,000
				実 績	2,806	3,037	
				達成率	93.5%	101.2%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A		53,336 千円		62,925 千円		73,977 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		5.00 人	14,502 千円	4.00 人	5,746 千円	1.00 人	2,692 千円
	正規職員人件費 B		1.00 人	6,749 千円	1.00 人	6,938 千円	1.00 人	7,274 千円
事業費合計 C (A+B)			60,085 千円		69,863 千円		81,251 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担						
		県の負担						
		町の借入						
		その他	2,769 千円		2,859 千円		3,600 千円	
		うち 使用料・手数料 D						
一般財源（町の負担）			57,316 千円		67,004 千円		77,651 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性 町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	C 協働を検討すべき	持続可能な観光地域づくりを実践するため、住民と地域事業者等と事業を推進していく。観光施設等の管理を担う行政と稼ぐ観光を実践する組織をより明確化した観光振興に努める。
公平性 受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	受益者は、観光客及び観光事業者が中心となるが、観光振興の活性化により、住民や地域事業者等が利益を享受している。観光客が来訪し、滞在することにより、町の賑わいの創出及び地域への経済波及効果が見込まれる。
効率性 予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	A 適切である	稼ぐ観光を実践する観光振興局を中心に着地型旅行商品の旅行企画、実施をしている。下諏訪ならではの旅の提案をすることが可能となるため、町へ来訪する理由を高め、高付加価値な旅行商品を提案することで、滞在時間の向上と観光消費額の拡大を図っている。
達成度 事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	町観光振興計画において、既存の消費単価に加えて、観光における経済波及効果及び1回あたりの旅行消費額等の調査を実施する。

総合評価	現状維持	観光振興局が造成する着地型旅行商品が定着化しており、一定の評価によるリピーターも増加している。これまでの観光振興を推進するだけでなく、下諏訪へ来訪するための高付加価値な旅を提案し、持続可能な観光地域づくりを具体的に推進している。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	観光施設の管理				担当課名	産業振興課	
					担当係名	観光係	
(予算書コード)	07-01-03-10-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	直 営				
事業の開始・終了	年	月 ~	年	月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)		
根拠法令等の名称							

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	町に来訪する観光客が安全安心かつ気持ちよく観光施設等を利用できるようにするとともに、町の魅力を体験・体感できるよう計画的な受入環境整備を図る。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	観光客入り込み	観光地利用者統計	人	目 標	1,400,000	1,400,000	1,400,000
				実 績	1,422,800	1,239,300	
				達成率	101.6%	88.5%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費	事業費 A		13,573 千円			15,595 千円			17,604 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		1.00 人	6,749 千円	1.00 人	6,938 千円	1.00 人	7,274 千円			
事業費合計 C (A+B)			20,322 千円			22,533 千円			24,878 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担		千円		千円		千円			
		県の負担	752	千円		千円		千円			
		町の借入		千円		千円		千円			
		その他	147	千円	1,178	千円	160	千円			
		うち 使用料・手数料 D	107	千円	135	千円	120	千円			
一般財源（町の負担）			19,423 千円			21,355 千円			24,718 千円		
受益者負担率（D／C）			0.527 %			0.599 %			0.482 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	B	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか 町以外では行えない 本事業で管理している観光施設の大半は、公衆トイレであり、町での維持管理が妥当である。
公平性	B	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか 検討の余地がある 収益を見込むことができない施設である一方で、観光客の増加や物価高騰等により維持費用が増加している。観光施設等の有料化やチップ制等、受益者による負担を求める取り組みも、今後は慎重に検討する必要がある。
効率性	A	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか 適切である 日常的な清掃業務等は、民間事業者に委託することにより、維持管理を行っている。利用者の声を把握することにより、業務や設備等の点検や見直しを定期的に行う必要がある。
達成度	C	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由) 目標値以下である 観光統計の算出方法の見直しや八島湿原までの道の通行止め等の要因から観光入込客数が減少している。利用者の満足度向上や利便性を高める取り組み及び施設の維持管理に努めている。

総合評価	現状維持	公衆トイレ等の観光施設においては、収益性が低いため、公益的な視点で引き続き行政が中心となり維持管理を行い、来訪者が快適に利用できるよう環境整備に努め満足度の向上を図る。 なお、観光客入り込みについては、旧和田峠の通行止めの長期化や岡谷ジャンクション工事による混雑渋滞などによる外的要因も影響している。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	しもすわ今昔館おいでや指定管理事業					担当課名	産業振興課
						担当係名	観光係
(予算書コード)	07-01-03-14-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	その他			指定管理	
事業の開始・終了	年 月 ～ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	下諏訪町観光施設に関する条例、下諏訪町観光施設に関する条例施行規則、下諏訪町埋蔵文化財センター星ヶ塔ミュージアム条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	平成30年度にリニューアルし、時計の歴史、町の文化を紹介するほか、星ヶ塔遺跡を代表する埋蔵文化財のミュージアムが併設された。施設は、個人から団体までのお客様の受け入れが可能であり、世界で初めて復元された水運儀象台や専門の技術者による時計づくり体験が特色あるコンテンツである。観光振興のためのまち歩き観光の拠点となる施設として、指定管理者(下諏訪町地域開発公社)とともに管理、運営を行う。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	観光施設の売上額	指定管理者からの営業報告	万円	目 標	2,980	2,966	2,974
				実 績	1,981	1,934	
				達成率	66.5%	65.2%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算		令和6年度決算		令和7年度予算	
事業費	事業費 A		10,747 千円		10,553 千円		11,758 千円	
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円
	正規職員人件費 B		0.50 人	3,374 千円	0.50 人	3,469 千円	0.25 人	1,819 千円
事業費合計 C (A+B)			14,121 千円		14,022 千円		13,577 千円	
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円	
		県の負担	千円		千円		千円	
		町の借入	千円		千円		千円	
		その他	千円		千円		千円	
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円	
一般財源（町の負担）			14,121 千円		14,022 千円		13,577 千円	
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %	

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	協働を検討すべき
公平性	A	適切である
効率性	B	検討の余地がある
達成度	C	目標値以下である

総合評価	手法改善	個人の時計づくり体験が好評だったものの、教育旅行等の団体旅行の受け入れ数が減少したことや人件費及び仕入れ原価の高騰もあり、指定管理者の運営管理は厳しくなった。また、建物の老朽化に伴う経費が増加傾向にあるため、優先順位を付けて対応する必要がある。
	手法改善の内容	新たな顧客に対応するための時計作り体験メニューの見直しを行うとともに、売店販売商品の充実を図ることにより、事業収益の増加を目指す。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)		手法改善

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	八島ビジターセンターあざみ館指定管理事業				担当課名	産業振興課	
					担当係名	観光係	
(予算書コード)	07-01-03-14-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	その他			指定管理	
事業の開始・終了	年 月 ~		年 月	(事業に始期又は終期がある場合に記入)			
根拠法令等の名称	八島ビジターセンターあざみ館条例						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	国の天然記念物に指定されている八島ヶ原湿原の貴重な自然環境を学び、楽しむことができる案内や館内展示の充実、物販を通じた訪問客へのおもてなしに努めるとともに、八島ヶ原湿原一帯の情報が集まる場として、安全な散策や自然環境保全の推進に寄与するため、指定管理者(下諏訪観光協会)と一体となり、管理運営を行う。						
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度	令和7年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	観光客入り込み	指定管理者からの営業報告	人	目 標	30,000	25,000	25,000
				実 績	25,445	24,836	
				達成率	84.8%	99.3%	

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費	事業費 A		876 千円			808 千円			925 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		0.25 人	1,687 千円	0.25 人	1,734 千円	0.25 人	1,819 千円			
事業費合計 C (A+B)			2,563 千円			2,542 千円			2,744 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円				
		県の負担	千円		千円		千円				
		町の借入	千円		千円		千円				
		その他	千円		千円		千円				
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円				
	一般財源（町の負担）		2,563 千円		2,542 千円		2,744 千円				
受益者負担率（D／C）			0 %		0 %		0 %				

【事業の評価】

区 分		評 価	説 明
妥当性	町が行う必要があるか 国・県・民間・住民と役割分担できないか	C 協働を検討すべき	平成18年度から指定管理者(下諏訪観光協会)により、運営管理している。八島高原の観光拠点であり、湿原環境や木道の情報等、訪問客の安全面に関わる多くの情報が集まる施設でもあるため、指定管理者との連携を図っている。
公平性	受益者が偏っていないか 適切な費用負担を求めているか	A 適切である	誰でも八島ヶ原湿原周辺環境について気軽に学べる施設となるよう、平成13年度から入館料を無料にしている。また、オリジナルグッズを作成し、新商品も随時取り入れながら販売を行っている。
効率性	予算、人員と成果を踏まえ、事業が効率的に行われているか	B 検討の余地がある	平成29年度にガイドウォークを廃止して以降、物販を主とした収入の減少が課題である。限りある予算の中で新商品の作成等を検討し、効率的な運営に努めている。
達成度	事業の活動成果は目標を上回っているか (下回っている場合は、その理由)	B 目標値どおりである	入館者については、前年度並みで概ね目標値通りとなっている。物販内容を更新しつつ、引き続き、お客様の満足度の向上に努める。

総合評価	現状維持	来訪者が八島ヶ原湿原の成り立ちを学び、安全に散策できる拠点施設であることを指定管理者とも共有し、引き続き来訪者が満足できる対応や館内展示の充実に努めている。来訪者数は、八島高原駐車場の混雑にも左右されるため、目標人数を大幅に増やすのではなく、現状のお客様を確実にご案内できるようにする。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	

令和6年度事務事業評価シート

【基本事項】

事務事業名	おんばしら館よいさ指定管理事業					担当課名	産業振興課
						担当係名	観光係
(予算書コード)	07-01-03-20-01						
事業区分	単年度予算	運営方法	その他			指定管理	
事業の開始・終了	平成 28 年 4 月 ~ 年 月 (事業に始期又は終期がある場合に記入)						
根拠法令等の名称	下諏訪町おんばしら館条例、下諏訪町おんばしら館条例施行規則						

【事業の概要及び分析】

事業の目的 (誰に対して) (何のために) (何を行うか)	令和3年度から下諏訪町地域開発公社が指定管理者となり、御柱祭などの歴史文化に親しむ機会を創出し、下諏訪の文化創造に貢献する施設として管理運営を行っている。春宮周辺の観光拠点として、来訪者へのご案内を行うとともに、木落し体験等の御柱祭を体感できる施設として、観光客の増加を図る。					
事業の活動成果	指標名	指標の算出方法	単位		令和5年度	令和6年度
(事業の実施によりどのような状態にしたいか)	観光施設の売上額	指定管理者からの営業報告	万円	目 標	789	740
				実 績	713	772
				達成率	90.4%	104.3%

【投入されたコスト・業務量】

			令和5年度決算			令和6年度決算			令和7年度予算		
事業費	事業費 A		3,950 千円			3,462 千円			3,909 千円		
	うち 会計年度任用職員人件費		人	千円	人	千円	人	千円			
	正規職員人件費 B		0.25 人	1,687 千円	0.25 人	1,734 千円	0.25 人	1,819 千円			
事業費合計 C (A+B)			5,637 千円			5,196 千円			5,728 千円		
財源内訳	特定財源	国の負担	千円		千円		千円				
		県の負担	千円		千円		千円				
		町の借入	千円		千円		千円				
		その他	千円		千円		千円				
		うち 使用料・手数料 D	千円		千円		千円				
一般財源（町の負担）			5,637 千円			5,196 千円			5,728 千円		
受益者負担率（D／C）			0 %			0 %			0 %		

【事業の評価】

区 分	評 価	説 明
妥当性	C	協働を検討すべき 令和3年度からは指定管理者(下諏訪町地域開発公社)が運営管理をしており、指定管理者と連携し事業を推進している。
公平性	A	適切である 直接的な受益者は観光客であるが、春宮周辺を含む周遊観光やイベント等で住民が集う場でもあり、住民や地域事業者等が受益者となり得る。
効率性	A	適切である 運営を指定管理者が行い、施設設備の保守等は適切な事業者業務に業務を委託し効率的に行われている。
達成度	A	目標値以上である コロナ禍後、徐々に客足が回復してきており、目標以上の売上となった。指定管理者と連携しながら事業を推進し、引き続き目標以上の収益確保ができるようにしたい。

総合評価	現状維持	令和3年度から下諏訪町地域開発公社による指定管理者制度を導入し、しもすわ今昔館や観光事業者等と連携、協力した誘致誘客に努めている。
前年度の総合評価 (評価が変わった場合はその理由)	現状維持	